

現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月21日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景



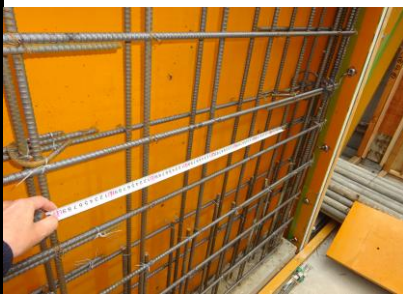
令和5年4月21日	
NO	2
場所	AY3通り
部位	W18A

計画通りに配筋組（横筋：D13@200mmダブル）が行われていることを確認。



令和5年4月21日	
NO	3
場所	AY3通り
部位	W18A

計画通りに配筋組（縦筋：D13@200mmダブル）が行われていることを確認。



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月21日	
NO	4
場所	AY3通り
部位	W18A
同上。壁端部がU字型に閉塞されていることを確認。また、重ね継手長さ (L1: D13×40=520mm) が計画 (施工図) 通りに確保されていることを確認。	




令和5年4月21日	
NO	5
場所	AY3通り
部位	W18A
計画通りに巾止め筋が設置されていることを確認。(D10@1,000mm)	





令和5年4月21日	
NO	6
場所	AY3通り
部位	W18A
スペーサーが適切に設置されていることを確認。(外周部のスペーサーの出幅：増し打ち20mm分を含む60mm)	





現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月21日	
NO	7
場所	AY3通り
部位	W18A
同上。内周部のスペーサーの出幅：かぶり厚さの最低値30mm+10mm（施工誤差を考慮した設計かぶり厚さ）	




令和5年4月21日	
NO	8
場所	AY3通り
部位	W18A
鉄筋かぶり厚さ30mm（内外共）が確保される状況であることを確認。	




令和5年4月21日	
NO	9
場所	AY3通り
部位	W18A
同上。また、計画通りの壁厚（200mm：外部側増し打ち20mmを含む）であることを確認。	

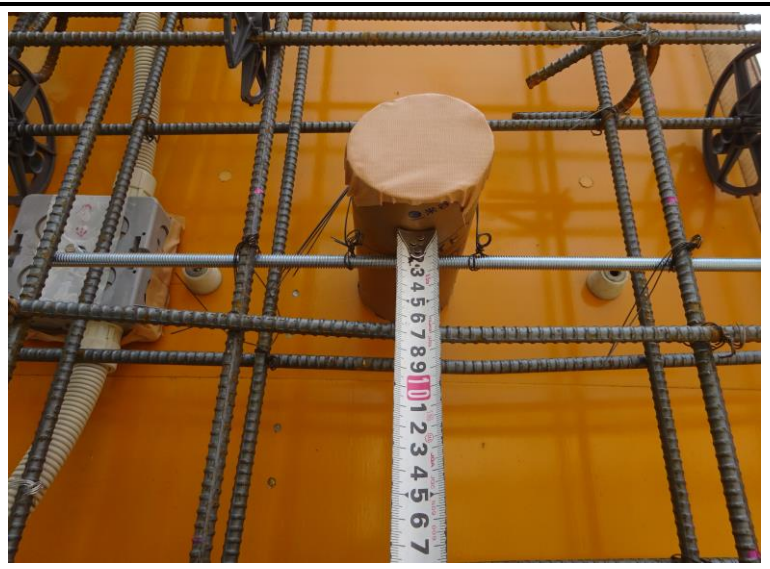



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月21日	
NO	10
場所	AY3通り
部位	W18A
壁立上がり筋との定着長さ (L1 : D13×40 = 520mm) が確保されていることを確認。	



令和5年4月21日	
NO	11
場所	AX7通り
部位	W18
スリーブ廻りの鉄筋かぶり厚さが適切 (30mm以上) に確保される状況であることを確認。	



令和5年4月21日	
NO	12
場所	AY4通り
部位	W18
開口補強筋 (横筋 : 2-D13) は、定着長さ (L1 : D13×40 = 520mm以上) が十分確保されていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録


令和5年4月21日	
NO	13
場所	AY 4 通り
部位	W 1 8

同上。開口部廻りには、計画通りの開口補強筋（縦筋：4-D13）が設置されていることを確認。




令和5年4月21日	
NO	14
場所	AY 4 通り
部位	W 1 8

壁端部補強筋4-D13の隣り合う補強筋の重ね継手位置は、計画通り（ $0.5 \times L1 = D13 \times 40 \times 0.5 = 260\text{mm}$ 以上）ずらして設置されていることを確認。




令和5年4月21日	
NO	15
場所	AY 4 通り
部位	W 1 8

計画通りに配筋組（横筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。




現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月21日	
NO	16
場所	AY 4 通り
部位	W 1 8
計画通りに配筋組（縦筋：D10@200mm ダブル）が行われていることを確認。	



令和5年4月21日	
NO	17
場所	AY 2 通り
部位	W 1 8 C
計画通りに配筋組（横筋：D13@150mm ダブル）が行われていることを確認。	

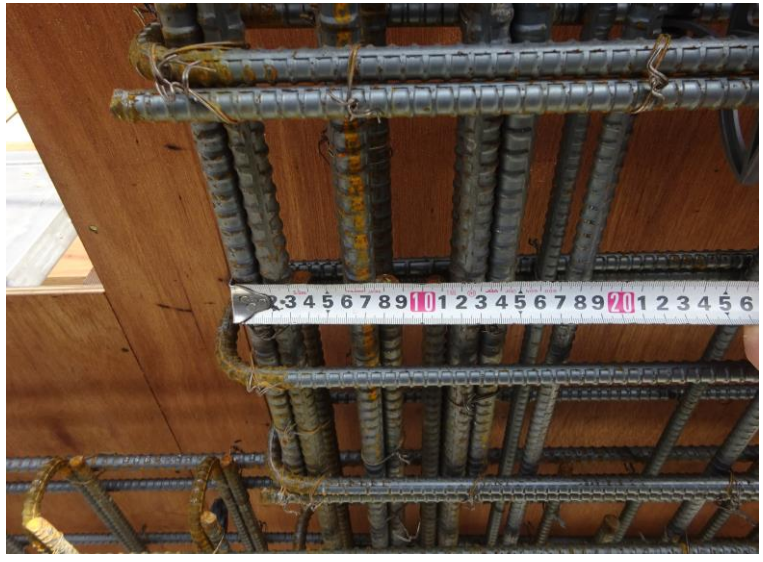


令和5年4月21日	
NO	18
場所	AY 2 通り
部位	W 1 8 C
計画通りに配筋組（縦筋：D13@150mm ダブル）が行われていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

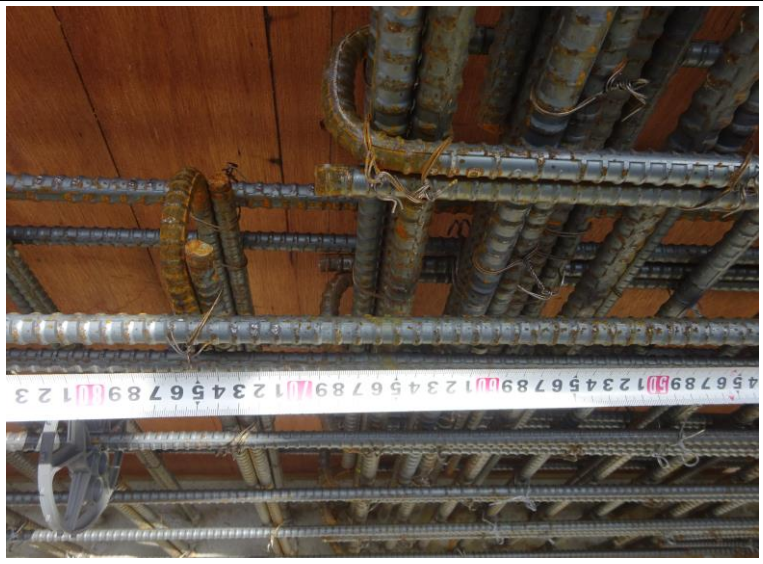
令和5年4月21日	
NO	19
場所	AY2通り
部位	W18C
同上。開口部廻りには、計画通りの開口補強筋（縦筋：6-D16）が設置されていることを確認。	

令和5年4月21日	
NO	20
場所	AY2通り
部位	W18C
開口部（腰窓）廻りには、計画通りの開口補強筋（横筋：2-D16）が設置されていることを確認。	

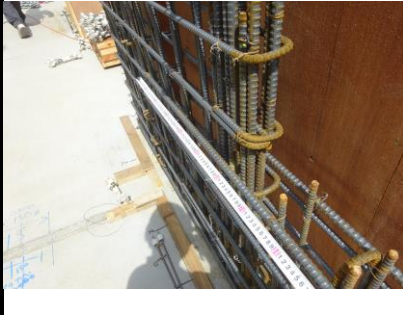



令和5年4月21日	
NO	21
場所	AY2通り
部位	W18C
開口補強筋（横筋：2-D16）は、定着長さ（ $L1 : D16 \times 40 = 640\text{mm}$ 以上）が確保されていることを確認。	

現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月21日	
NO	22
場所	A Y 2 通り
部位	W 1 8 C
同上。	




令和5年4月21日	
NO	23
場所	A X 6 通り
部位	W 1 8
計画通りに配筋組（横筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。（縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）	




令和5年4月21日	
NO	24
場所	A X 6 通り
部位	W 1 8
計画通りに配筋組（縦筋：D10@200mmダブル）が行われていることを確認。（縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋）	




現況検査により認められる状況の記録


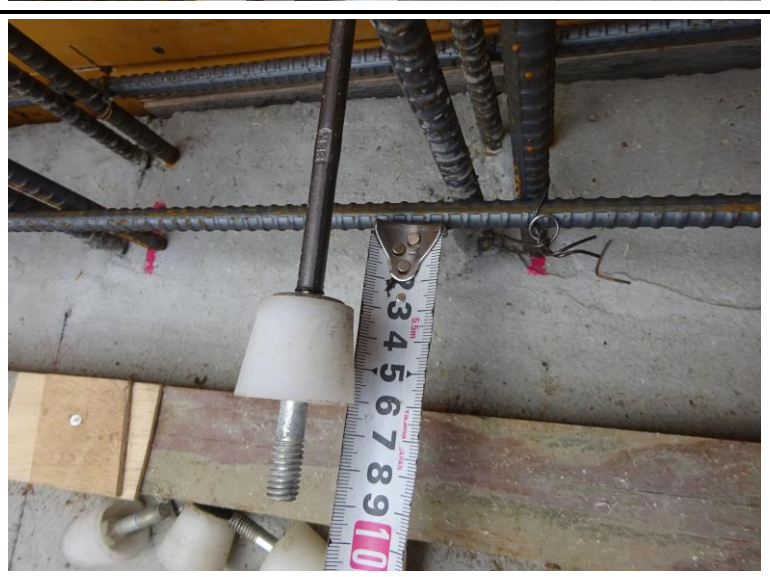
令和5年4月21日	
NO	25
場所	AX 6 通り
部位	W 1 8
壁立上がり筋との定着長さ (L1 : D10×40 = 400mm以上) が確保されていることを確認。	




令和5年4月21日	
NO	26
場所	AX 6 通り
部位	W 1 8
鉄筋かぶり厚さ30mm (内外共) が確保される状況であることを確認。	





令和5年4月21日	
NO	27
場所	AX 6 通り
部位	W 1 8
同上。	

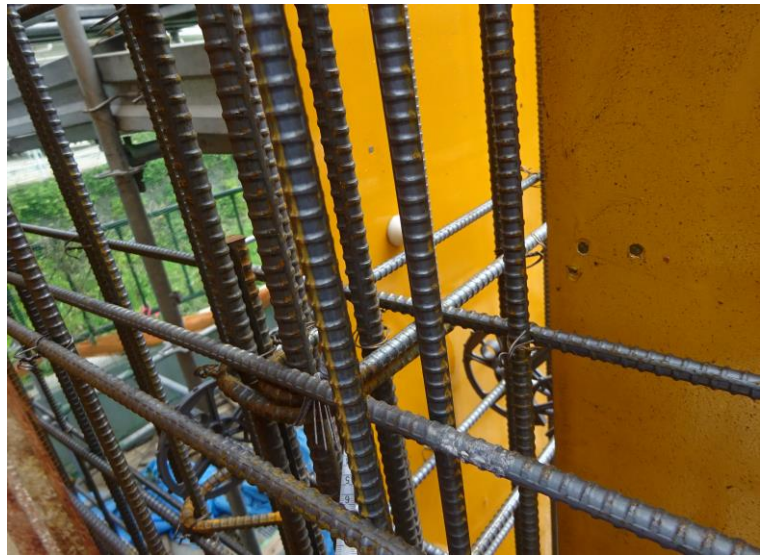



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月21日	
NO	28
場所	AX 6 通り
部位	W 1 8
スタジオ隣接部分は、計画（施工図）通りに遮音性の向上を目的とした増し打ち50mm（180mm+50mm=230mm）が行われる状況であることを確認。	
	



令和5年4月21日	
NO	29
場所	AX 6 通り
部位	W 1 8
AX 6 通り (W 1 8) と AY 4 通り (W 1 8) の T 型交差部では、U 字型の閉塞筋 (キャップタイ) が欠落していることを指摘。	
	



令和5年4月21日	
NO	30
場所	雑壁
部位	W 1 2 (非耐力壁)
スタジオ～ラウンジ2の間仕切り壁は、打合せ内容の通り、遮音性の向上を目的としてW 1 5 (壁厚150mm) に変更されたことを確認。	
	

